

## 追加資料

### ○財務状況把握の結果を受けての所感について

診断結果を伺いますと、市で認識している状況と概ね合致しているものと考えていますが、今後、学校施設長寿命化計画に基づく学校の統廃合に伴う建て替えや、長寿命化工事をはじめ、公共施設の老朽化対策に伴う起債の借入が増えることを想定しており、これら数値等について留意しながら様々な施策を進めていかなければならないと考えております。

### ○地域の動向について

市内事業者の動向については、倒産が続くような状況ではなく、厳しい状況ながらも持ちこたえているという印象であります。国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用してペイペイを利用した消費活性化事業を他市が実施していない時期を狙って繰り返し実施するなどにより、その効果が表れているものであります。

また、事業者も市民の皆様もキャッシュレス決済に慣れてきたこともあり、その効果は回を重ねるごとに出ているものと考えております。

### ○老朽施設及び老朽インフラ（道路、上下水道等）への対応と課題について

公共施設の老朽化対策については、まずは学校施設長寿命化計画に基づく統廃合や長寿命化工事を実施するため、令和7年度に第七小学校の建て替え工事に着手する予定です。また、空調設備や蛍光灯の照明など、待ったなしの老朽化対策が迫っていることから、精査して進めなければならぬと考えています。

老朽インフラ資産のうち、市道については、路面性状調査を行い、各路線の老朽化対策に向けて計画を策定し、今後の対応を検討する段階にきていますが、舗装補修や道路改良工事にあたり、財源の確保が課題となっています。

下水道事業については、布設した時期の中心がバブル期であり、その影響で他団体に比べ市域の小ささのわりには多額の経費がかかり、市債の借入も行っています。また、整備率が100%であり、公営企業会計となって数年経っていることから、本来であれば収支を黒字化しなければいけません、節水仕様の器具の普及等により基準外繰出があるのが現状です。

今後の施設の更新費用を考えると、基金への積み立てなども検討しなければなりません、現状の財務状況ではそのような備えができていないことから、財源の確保は課題となっています。

## ○新型コロナウイルス感染症に伴う影響について

市内の感染状況は、一時のピークは越えたと思いますが、引き続き、小・中学校や保育施設等での感染がみられることから、細心の注意を怠らなければならないと考えています。感染者を増やさないためにも、ワクチン接種を進めているところであり、5～11歳の児童に対しても接種を進めているところでもあります。ワクチン接種については、4回目の接種について報道がありましたが、職員体制等についても臨時的な併任を長らく続けていたところであり、これを解消すべく組織人事を修正したところでもあります。

## ○国の政策に関するご意見・ご要望について

- ① 当市の財政運営は、国・都支出金や地方交付税などの依存財源に頼る厳しい状況が続いています。今後直面する少子高齢化や公共施設の老朽化対策など、構造的な諸問題に対処するために、近隣市に先駆けて国民健康保険税の連続改定や事務事業の廃止・縮小など、あらゆる改革に真摯に取り組んでいますが、厳しい状況を脱する目途が立たない状況にあります。

自助努力での解決が限界に達しつつあることから、税源移譲や地方交付税制度などの抜本的な対策について、ご検討いただく必要があるものと考えています。

- ② 当市は、法定外繰入れによる赤字補填を令和5年度に解消する財政健全化計画について、積極的に取り組みを進めているところではありますが、今の国保財政の脆弱性につきまして、大変危惧しております。

その主な要因といたしまして、団塊の世代が後期高齢者医療へ移行するため、国保加入者における前期高齢者の割合が減少することによる前期高齢者交付金の減額、また、被用者保険の適用拡大に伴い、国保加入者の中でも所得のある働き手世代が脱退することによる保険税の減収が挙げられます。

これらのことは、一自治体で改善を図るのが困難な制度上の課題でありますことから、制度を構築している国の国庫負担割合の引上げや、国保制度への財政支援のさらなる拡充等について、ご検討いただく必要があるものと考えています。

- ③ 引き続き、感染症対策に係る市町村への財政措置を要望しますが、給付事業やワクチン接種をはじめ、事業の決定から執行に移るまでの期間が非常に短く、職員体制の整備等を含めて対応に大変苦慮していることから、改善できるものにつきまして、ご検討いただく必要があるものと考えています。